

# 火災が起きたときの避難

## 避難するとき

おさない

かけない

しやべらない

もどらない



アライグマのポーズ

避難する時は、  
体を低くして、  
ハンカチを  
口と鼻にあてる。

## 身に付けるもの



- 1 テーマ 火災
- 2 ねらい 出火の際の基本行動及び避難の姿勢を理解し、行動させる。
- 3 指導内容
  - ・おかしもの確認をする。
  - ・避難の姿勢を確認する。

分	○児童の学習活動	◇教師の働きかけ ・児童の反応	◎留意点 ■評価
1	○火災の時の避難方法を想起する。	◇「火災が起こった時には、どのような行動をしますか。今までの訓練を思い出してみましよう。」 ・出火場所を確認する。 ・ハンカチで口と鼻を覆う。 ・放送をしっかりと聞く。	◎これまでの火災発生時の避難訓練を想起させる。
3	○課題について知り、避難行動について考える。  ○その場で避難姿勢をとる。	◇「今日は、火事が起こった時の行動について確認します。火事が起こった時には、次のような行動をとることが大切です。」  ◇「避難するときには、おかしも（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）をしっかりと守ります。」  ◇「煙の中から逃げる時には、体を低くしてハンカチを口と鼻にあてます。」  ◇「ハンカチを出してみましよう。」  ◇「避難する姿勢をとります。その場で防災頭巾（ヘルメット）を被り、ハンカチを口と鼻にあて、低い姿勢になります。」	◎パネルを使って説明する。  ◎避難する姿勢のみ、その場で練習する。
1	○学習をまとめる。	◇「避難の時には、合言葉『おかしも』を守り、防災頭巾（ヘルメット）を被り、体を低くしてハンカチを口と鼻にあてて避難します。いざという時に素早く行動できるようにしましよう。」	■出火の際の基本行動及び避難の姿勢を理解し、避難姿勢をとっている。